

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名 グループホームふれあいの家六供

作成日: 令和 5 年 8 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	52	食事の献立表を掲示し、これから食する物をお知らせし、さらに食事を楽しむ工夫や、表がよく見えない利用者にも配慮ある工夫に取り組んではいかがか。	利用者様に食事を楽しんでいただく。	ホワイトボードに献立を書き、食事前にお知らせする。献立を書く事を利用者様の役割として書いていただく。	3ヶ月
2	26	認知症の利用者は変化がないと思われがちだが、仔細にみると変化があるので、予防の意味も含め3ヶ月に1度は介護計画の見直しに取り組んでみてはいかがか。	利用者様の変化に気づき、現状に即した介護計画を作成する。	現在6ヶ月ごとの介護計画の見直しを、もっと短い期間で見直せるようにケアマネジャー中心に日程調整を行っていく。	6ヶ月
3	35	玄関を出るところまででよいので、火災、地震、水害を想定した自主訓練の回数を増やし、災害時に対応できる体制作りに取り組んではいかがか。	自主的な防災訓練を年4回実施する。	四季に合わせて秋冬は火災訓練、夏は水害訓練、春は地震訓練などを季節ごとにおこない、自主訓練を積み重ねることで現実に災害が起こった際に落ち着いて対応できるように準備する。	6ヶ月
4	45	入浴予定日でなくても「今日も入れる」ことを情報として伝える声かけをしてほしい。そして、入りたいという利用者には要望に応える取り組みをしてはいかがか。	利用者様の希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめる支援をする。	入浴予定日でなくても、いつでも入れる事を伝えていく。そして、入りたいという利用者様にはなるべく要望に応えていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。